



園 だ よ り

ふみつき
7月(文月)号

令和 7 年 6 月 3 0 日
千代田区立お茶の水幼稚園
園 長 伊 藤 栄 司



<http://www.schoolweb.ne.jp/chiyoda/ochanomizu-k>

あめイベント

園長 伊藤 栄司

先月中旬から晴天の日が続き、夏本番といった気温が続いています。園では、暑さ指数 **WBGT**(湿球黒球温度)を計測し安全に遊べるかどうかを確認してから外で遊ばせるようにしています。暑い日が続くので室内遊びが多くなりますが、室内といってもオープンルームや、小学校の多目的ホール、体育館など広い場所もたくさんありますので涼しい環境の中で、思い切り体を動かすこともできています。また、水遊びも始まりました。冷たい水の感触を楽しみながら過ごしています。

梅雨入り

梅雨入りを機に、ひまわり組では傘を作成しました。まず、透明なパウチシートを丸く切り抜き絵を描きます。次に、円の一部を切り少し重ねて張り合わせると、あっという間に円錐形の傘が出来上がりました。そこに発砲スチロール製の棒で持ち手をつければ完成です。持ち手の芯には針金を入れたので、強度も上がり自由に形を変えることができます。子どもたちは、オリジナルの傘を完成させ、とても喜んでいました。

傘ができると雨が降らないかなと想像が広がります。そこで、廊下にすずらんテープを使って雨ゾーンを作りました。初めのうちは、自分で作った傘を差し、雨ゾーンを歩いて楽しんでいましたが、やがて、それだけでは満足できなくなり、ちゅうりっぷ組さんをよんで一緒に楽しむように遊びの輪が広がりました。

雨イベントの準備

なんだかとっても楽しくなってきたひまわり組さんは、「皆でやったら楽しそう」と話し合いをスタートさせました。「雨の道を通ったらアメがもらえるのはどうかな?」「ばら組さんやちゅうりっぷ組さんと呼んで楽しんでもらおうよ」「どんな係が必要かな?」と幼稚園全体で楽しめるように工夫を重ねました。「びっくりさせたいから、皆には秘密にしておいて」と担任の先生にお願いして、協力しながら準備を進めました。

最初に取り掛かったのは、アメづくりです。イチゴ・ブドウ・ミルク・チョコの4つの味を用意しました。お花紙やカラーセロファンを使って、食べたくなるような本物そっくりのアメを作りました。チケットも作って配ったので、何をやるのか分かってしまいましたが、最後まで「秘密だよ」と楽しそうに話す姿が印象的でした。

雨イベントのスタート

時間になると、ばら組さんちゅうりっぷ組さんがチケットをもってやってきました。ひまわり組の子どもたちは、受付係・入口の案内係・傘の貸し出し係・ゴール後の傘の受け取り係・雨の道の安全管理係・ゴール後にアメを渡す係と皆に楽しんでもらえるように、スムーズに開催できるよう工夫しました。さらに、傘を貸してしまうので自分たちはビニル袋で作った合羽を着て案内するなど、細部に渡って考え抜かれていて感心しました。

招待したばら組さんやちゅうりっぷ組さんからは、「アメおいしかったよ」と嬉しい声も聞かれました。とても楽しんでくれたので、みんな満足していました。

次につながる振り返り

一番驚いていたのは、担任の先生です。「傘づくり」の活動がここまで広がるとは思っていなかったからです。嬉しい誤算を感じるとともに、子どもたちの無限の発想力に驚く瞬間でした。子どもたちは、お客さんに楽しんでもらうためにはどうしたらよいか真剣に考えたので、きっと「わくわく縁日」でも身に付けた力を使ってより楽しく遊べるのではないかと次の目標をたてました。

次につなげるためには、振り返りが大切です。上手くできたことと、できなかったことに分け自分たちのイベントを分析することで次につなげます。「傘の貸し出しが混んでいた。」「アメの数がぎりぎりだったので選べない子がいた。」など具体的な反省点が上がりました。わくわく縁日では、今回の反省を活かし、もっともっと楽しいイベントを成功させてくれるのではないかと期待しています。当日をお楽しみに。

※WBGT (Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。